

平成25年度登別市まちづくり意識調査
結果報告書

平成25年10月

登別市

平成25年度登別市まちづくり意識調査結果報告書 目次

調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査対象者及びその抽出方法	
	(1) 調査対象者	
	ア 必要標本数の算出	
	イ 調査対象者の算出	2
	(2) 調査対象者の抽出方法	
3	実施の方法	3
4	実施時期	
5	実施期間	
6	調査項目・設問数	
7	回収結果	4
8	集計	

調査結果の分析

◇第3章『大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち』	5
➤ 観光	
➤ 経済循環	
➤ 地場産業	
➤ 雇用・就業	
➤ 農業・漁業	
◇第4章『調和の中でふるさとを演出するまち』	12
➤ 都市空間	
➤ 地域景観	
➤ 住環境	
➤ 居住空間	
➤ 交通網	
◇第5章『豊かな個性と人間性を育むまち』	19
➤ 生涯学習	
➤ 子どもの教育	
➤ 地域に根ざした学校づくり	
➤ 青少年健全育成	
➤ 文化・芸術活動	
➤ 文化の保存・継承	
➤ スポーツ活動	
◇第6章『担いあうまちづくり』	28
➤ 市民自治・協働	
➤ まちづくり活動	
➤ 情報公開・共有	
➤ 広域交流	
➤ 国際交流	
➤ 移住・定住	
◇魅力あるまちづくりのために重要なこと	36

調査の概要

1 調査の目的

市民の視点に立ったまちづくりを推進するため、登別市総合計画第2期基本計画（以下、「基本計画」という。）における各施策に対する満足度及び重要度を調査し、行政サービスの向上及び各施策を展開するうえでの指標や基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象者及びその抽出方法

(1) 調査対象者

20歳以上の市民から、町別・年代別は無作為に抽出した3,500人。

ア 必要標本数の算出

統計上必要な標本（サンプル）を次により求める。

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{z}\right)^2 \times \left(\frac{N-1}{P(1-P)}\right) + 1}$$

N：母集団

調査や研究の対象となるものの全体。標本を抽出するための母体となる統計量の集まり。

本調査の実施にあたっては、20歳以上の市民が対象となる。

N=（住民基本台帳人口：50,985人）－（0～19歳の人口：8,212）＝42,773人（平成25年3月末値）

e：標本誤差

標本統計量の精度を表す。

一般的に政府の世論調査などで用いる標本誤差3%を用いる。

z：信頼率に対応する正規分布点

区間推定において、ある確率（信頼係数）のもとで母数がある区間に含まれると推定された区間のこと。信頼限界とも言う。95%信頼区間とは、無作為抽出を100回繰り返し、その都度信頼区間を計算した場合、95回くらいは信頼区間中に母数が含まれるということ。

ここでは、信頼率を95%とし、その信頼率に対応する正規分布点1.96を用いる。

P：予想される母集団の比率

母集団におけるある条件を満たす対象の比率。母比率を50%とすると最も安全な標本を求めることができることから、本調査の実施にあたっては50%を用いる。

これにより、計算すると統計学上必要と判断される標本の大きさ（n）は、1,041人以上となることから、本調査では標本数を1,100人と設定した。

イ 調査対象者数の算出

アで求めた標本数確保のため、調査対象者数を次により求める。

$$\text{調査対象者数} \geq \text{標本数} \div \text{回収見込数} (\alpha)$$

回収見込数（ α ）は、35%として想定する。

これにより、調査対象者数は3,143以上となることから、本調査では、統計学上望ましいとされる標本数を得るため、調査対象者数を3,500人と設定した。

(2) 調査対象者の抽出方法

平成 25 年 3 月末時点の 20 歳以上の人口を町別、年代別（20、30、40、50、60 歳代、70 歳以上）、男女別に集計し、人口比率により町別の調査対象人数を振り分け、その後、町別の年代比率により各年代の対象者数を振り分ける。

年代	20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
カルルス町	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	3
登別温泉町	5	7	5	4	4	4	4	4	3	5	3	5	24	29	53
上登別町	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	1	3
登別温泉・カルルス地区	5	7	5	4	4	4	5	5	4	6	4	6	27	32	59
登別本町	4	3	5	5	5	5	5	6	10	10	11	16	40	45	85
登別港町 1 丁目	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	2	3
登別東町	9	9	10	9	12	12	14	16	20	23	24	38	89	107	196
富浦町	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	5	11	13	24
中登別町	1	1	1	1	2	2	3	2	4	5	6	12	17	23	40
登別・富浦地区	15	14	17	16	21	21	25	26	36	41	44	72	158	190	348
幌別町	7	7	11	10	9	11	11	11	14	17	14	25	66	81	147
幸町	1	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	9	9	18
新栄町	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	3	4
大和町	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	6	6	12
中央町	6	7	8	8	9	8	8	7	11	13	13	19	55	62	117
常盤町	8	7	11	12	15	17	10	12	13	17	17	24	74	89	163
柏木町	9	7	13	13	11	13	13	16	18	20	15	21	79	90	169
片倉町	4	5	6	5	5	6	7	6	8	9	11	14	41	45	86
新川町	6	6	10	10	9	10	9	12	16	18	17	23	67	79	146
富士町	5	5	9	8	10	10	12	12	17	21	29	43	82	99	181
千歳町	10	6	9	10	10	9	10	12	18	15	11	16	68	68	136
来馬町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2
札内町	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	3	6
青葉町	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	0	1	6	7	13
緑町	7	4	7	4	4	4	4	3	5	6	7	9	34	30	64
桜木町	9	9	17	19	17	19	11	12	16	20	15	18	85	97	182
鉾山町	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
川上町	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
幌別地区	74	65	105	102	104	112	100	107	142	163	154	220	679	769	1,448
富岸町	9	11	14	14	15	18	16	18	14	13	7	14	75	88	163
若山町	9	8	13	12	11	13	8	10	12	15	17	19	70	77	147
富岸・若山地区	18	19	27	26	26	31	24	28	26	28	24	33	145	165	310
若草町	15	14	22	19	19	25	24	27	41	47	40	52	161	184	345
新生町	17	19	25	24	23	23	26	27	35	42	35	42	161	177	338
若草・新生地区	32	33	47	43	42	48	50	54	76	89	75	94	322	361	683
栄町	6	6	7	7	7	7	6	7	10	10	12	15	48	52	100
鷺別町	15	16	24	24	26	25	21	20	26	31	31	45	143	161	304
美園町	13	11	14	15	15	13	14	14	23	28	32	44	111	125	236
上鷺別町	0	0	1	0	1	1	1	1	1	2	2	2	6	6	12
鷺別・美園地区	34	33	46	46	49	46	42	42	60	71	77	106	308	344	652
合計	178	171	247	237	246	262	246	262	344	398	378	531	1,639	1,861	3,500

3 実施の方法

調査票を調査対象者へ郵送にて送付し、郵送及び持参の方法にて回収した。

4 実施時期

調査は平成 25 年 8 月 9 日から 8 月 30 日までとして実施した。

5 実施期間

本調査は平成 24 年度と平成 25 年度の 2 年間実施し、各年度の設問は次に掲げる事項を基本とする。

- (1) 平成 24 年度：基本計画の第 1 章『やさしさと共生するまち』・第 2 章『自然とともに暮らすまち』に係る設問等。
- (2) 平成 25 年度：基本計画の第 3 章『大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち』・第 4 章『調和の中でふるさとを演出するまち』・第 5 章『豊かな個性と人間性を育むまち』・第 6 章『担いあうまちづくり』に係る設問等。

6 調査項目・設問数

登別市のまちづくりに関する「満足度」と「重要度」などについて、基本計画に掲げる各施策等に沿って設問を設定。平成 25 年度は基本計画の第 3 章、第 4 章、第 5 章、第 6 章について調査を実施した。

調査項目	設問数	設問内容
調査対象者の基本情報	6 問	調査対象者の居住町、性別、年代、居住年数などの調査
登別市のまちづくりに関する「満足度」と「重要度」	5 問	第 3 章に掲げる施策（「観光」「経済循環」「地場産業」「雇用・就業」「農業・漁業」）に対する満足度調査
	1 問	第 3 章の総合的な満足度調査
	1 問	第 3 章に掲げる施策の重要度調査
	5 問	第 4 章に掲げる施策（「都市空間」「地域景観」「住環境」「居住空間」「交通網」）に対する満足度調査
	1 問	第 4 章の総合的な満足度調査
	1 問	第 4 章に掲げる施策の重要度調査
	7 問	第 5 章に掲げる施策（「生涯学習」「子どもの教育」「地域に根ざした学校づくり」「青少年健全育成」「文化・芸術活動」「文化の保存・継承」「スポーツ活動」）に対する満足度調査
	1 問	第 5 章の総合的な満足度調査
	1 問	第 5 章に掲げる施策の重要度調査
	6 問	第 6 章に掲げる施策（「市民自治・協働」「まちづくり活動」「情報公開・共有」「広域交流」「国際交流」「移住・定住」）に対する満足度調査
	1 問	第 6 章の総合的な満足度調査
	1 問	第 6 章に掲げる施策の重要度調査
	魅力あるまちづくりのために重要なこと	1 問
その他	—	市政への意見・要望等を調査

※ 記入方法：複数項目からの選択性を基本とし、一部記入方式とした。

7 回収結果

- (1) 調査票の発送数：3,500人
- (2) 回収した標本数：968人
- (3) 回収率：27.66%

8 集計

- (1) 集計は小数第3位を四捨五入して行った。したがって、回答率の合計が100%から1%の範囲で増減することがある。
- (2) グラフ中の(n)は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (3) 回答の比率(%)はその設問の回答者数を基数(n)として算出した。したがって、複数回答の設問(魅力あるまちづくりのために重要なこと)は全ての比率を合計すると100%を超える。

調査結果の分析

◇第3章『大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち』

【観光】

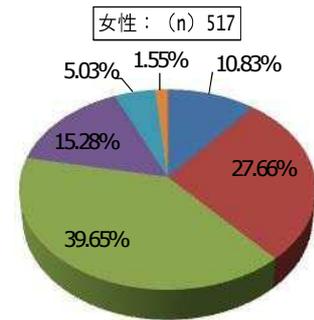
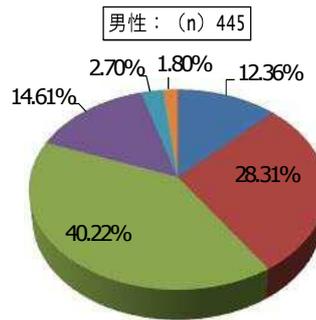
温泉に加え、自然景観や特産品、文化、スポーツなど、独自の地域資源を活かした観光客誘致の環境が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

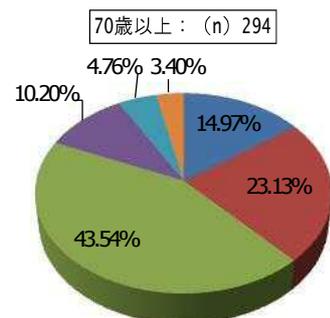
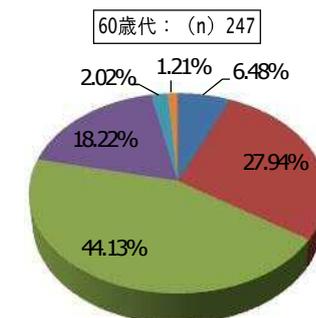
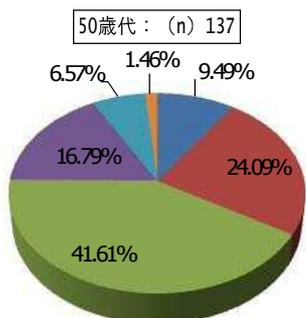
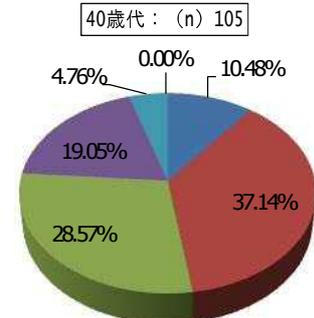
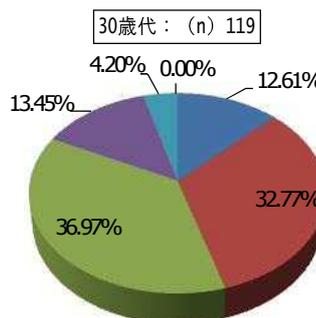
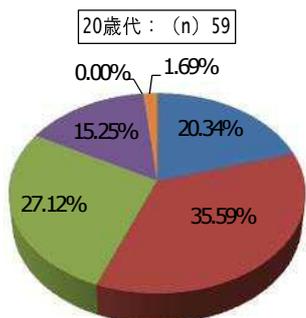


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合を大幅に上回っている。
- 男女それぞれ、また、どの世代においても「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合より高く、性別・年代を問わず満足感に高い傾向が見られる。

【経済循環】

産学官の連携や異業種交流により新しい事業が創出され、地域内の経済活動が円滑に循環する環境が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

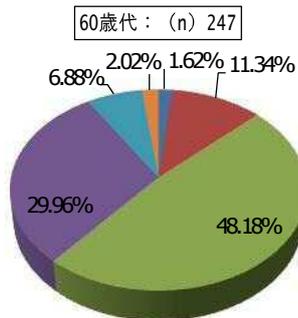
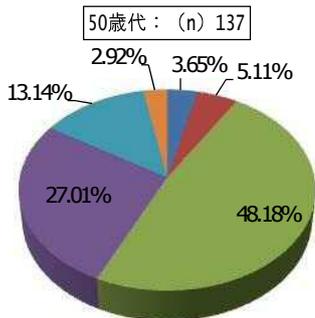
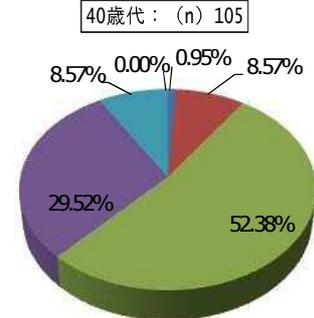
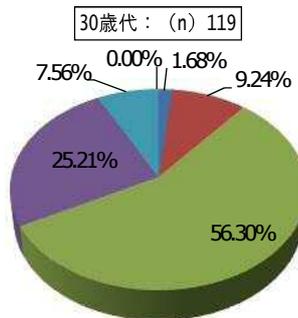


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

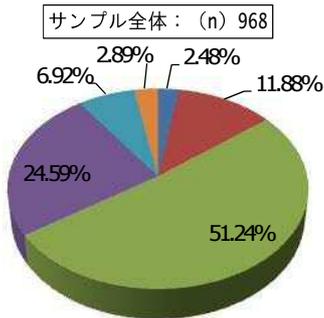
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合を大幅に上回っている。
- 男女それぞれ、また、どの世代においても「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高く、性別・年代を問わず不満感に高い傾向が見られる。

【地場産業】

地域の資源や技術を活用した地場製品の創出、また、新たな技術やサービスの事業化を支援する体制が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

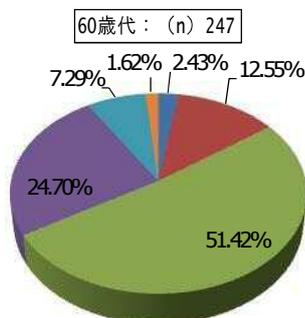
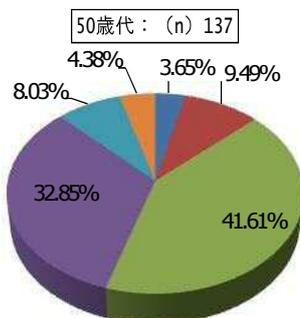
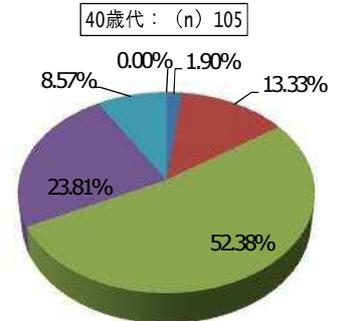
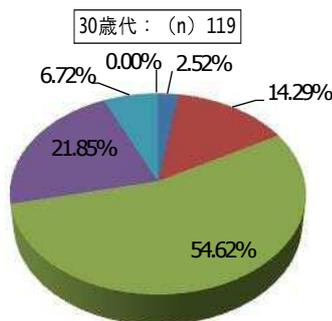


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

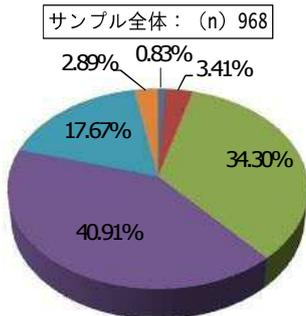
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高い。
- 性別では男女間において大差はない。
- 年代別では30歳代以上で「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高く、不満感に高い傾向にあり、50歳代の不満感が他の世代よりも高い傾向が見られる。

【雇用・就業】

年齢・性別を問わず就労の場が確保でき、誰もが安心して生涯を通して働ける支援体制が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

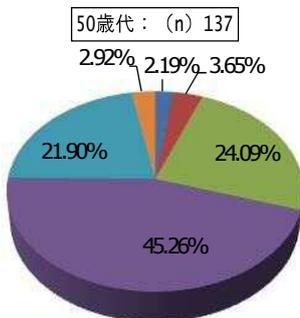
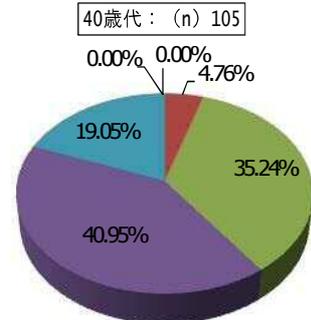


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より大幅に高い。
- 性別では男女間において大差はなく、不満感に高い傾向が見られる。
- 年代別ではどの年代においても「不満」「やや不満」の割合の方が「満足」「やや満足」より大幅に高く、年代を問わず不満感に高い傾向が見られる。

【農業・漁業】

自然環境を守りながら、観光産業と連携した特色ある農業・漁業を育成する支援体制と共に、地産地消を促す環境が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

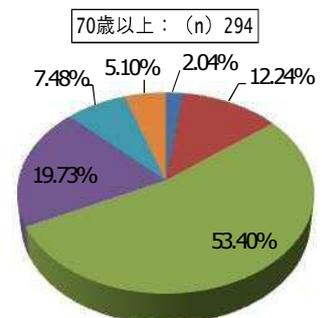
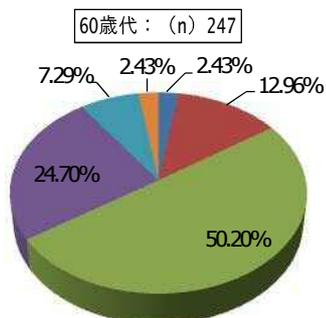
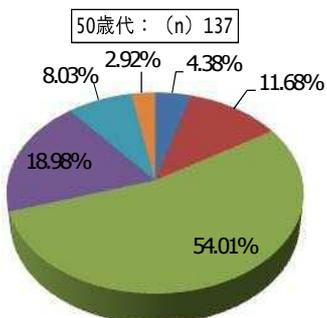
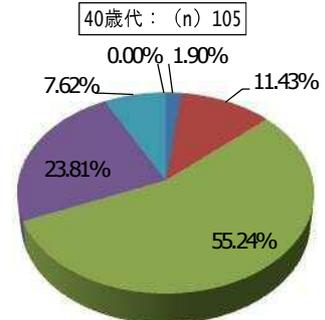
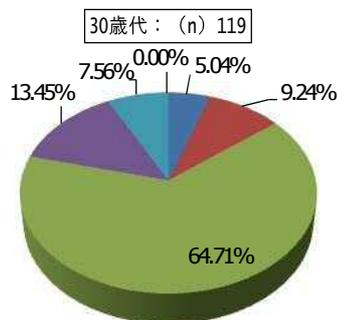
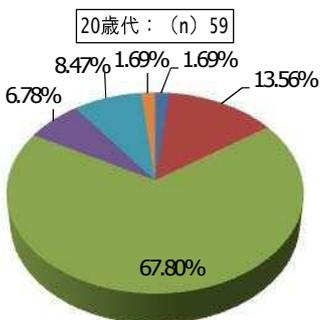


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高い。
- 性別では男女間において男性の方が女性より「不満」「やや不満」の割合がやや高い。
- 年代別では 40 歳代と 60 歳代の「不満」「やや不満」の割合が他の年代より高く、不満感に高い傾向が見られる。

【第3章の総合的な満足度】

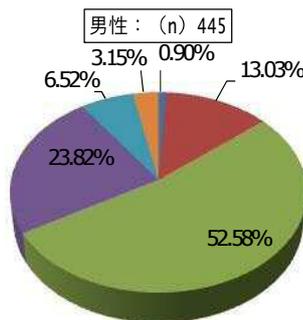
第3章『大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち』（観光、経済循環、地場産業、雇用・就業、農業・漁業）について、あなたの総合的な「満足度」をお聞かせください。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

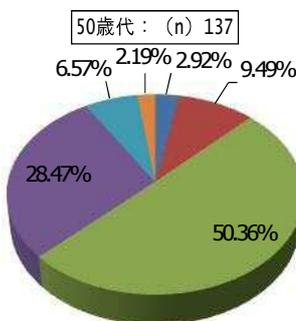
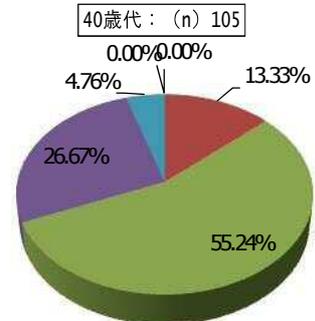
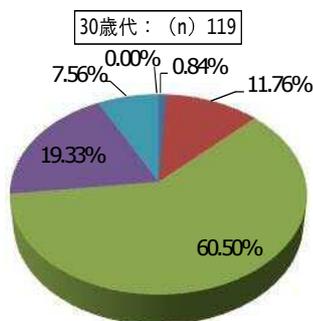
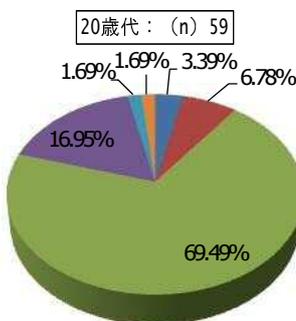


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高い。
- 性別では男女間において大差なく、年代別ではどの世代においても「不満」「やや不満」の割合が「満足」「やや満足」の割合より高く、特に 40- 60 歳代の不満感が高い傾向にある。

【第3章に掲げる施策の重要度】

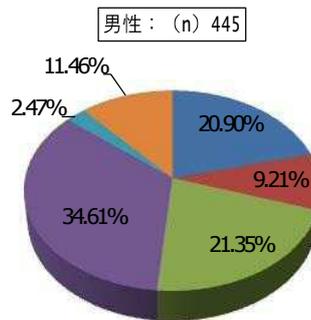
第3章『大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち』（観光、経済循環、地場産業、雇用・就業、農業・漁業）の中で、あなたが特に「重要と考える項目」をお聞かせください。

■ 観光 ■ 経済循環 ■ 地場産業 ■ 雇用・就業 ■ 農業・漁業 ■ 未回答

〔全体〕

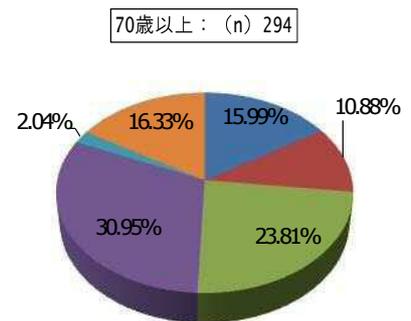
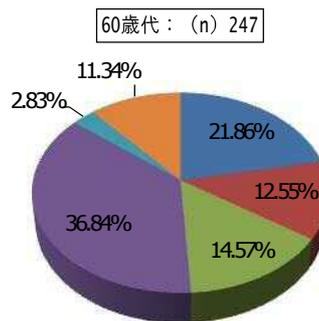
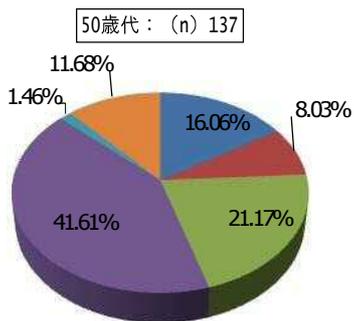
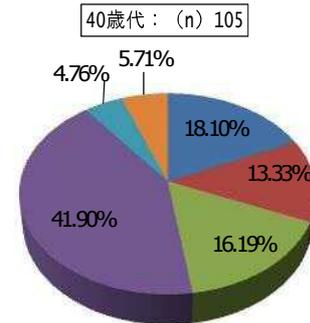
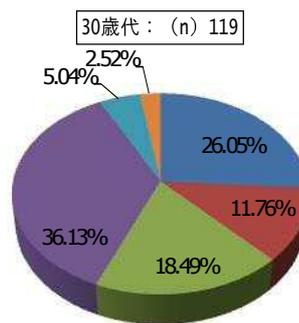
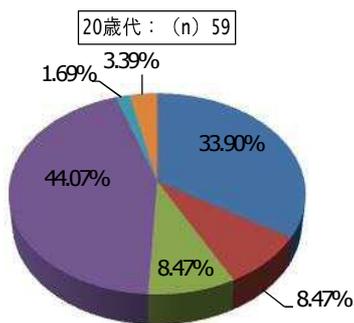


〔性別〕



※性別についての設問未回答数:6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数:7

【考察】

- 総体的には「雇用・就業」を重要とする割合が最も高く、次いで「観光」「地場産業」の順で重要とする割合が高い。
- 性別では男女共に「雇用・就業」が最も高く、次いで男性は「地場産業」、女性は「観光」を重要とする割合が高い。
- 年代別では全世代において「雇用・就業」を重要とする割合が最も高く、次いで20 - 40歳代と60歳代は「観光」を、50歳代と70歳代は「地場産業」を重要視する傾向がある。

調査結果の分析

◇第4章『調和の中でふるさとを演出するまち』

【都市空間】

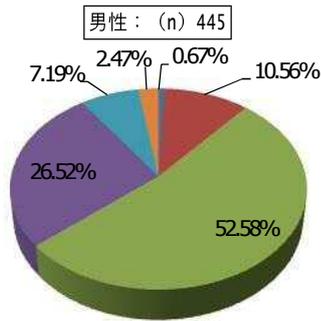
人口、産業など社会状況の変化を予測し、機能的で快適な都市空間を目指した施策が進められている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

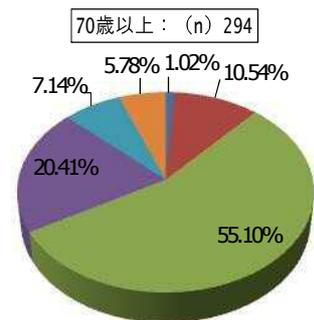
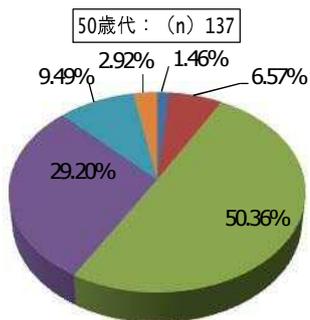
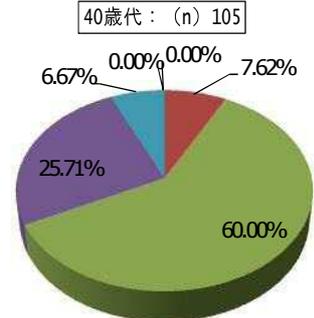
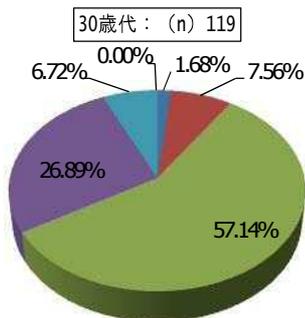
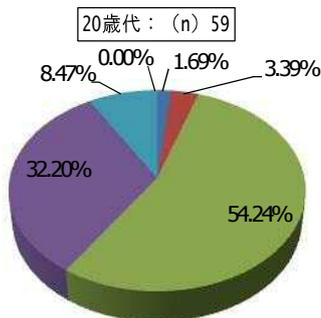


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

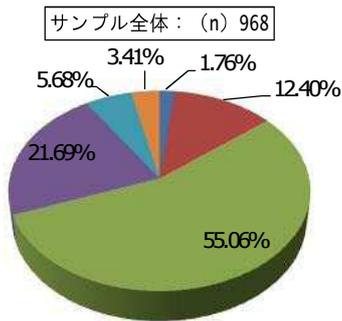
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合を大幅に上回っている。
- 性別・年代を問わず「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合を大幅に上回っており、不満感に高い傾向が見られる。

【地域景観】

地域特性を活かした良好な景観を形成し保全する意識が市民の間に醸成され、官民一体となった取り組みが行われている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

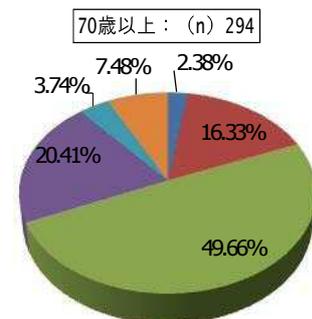
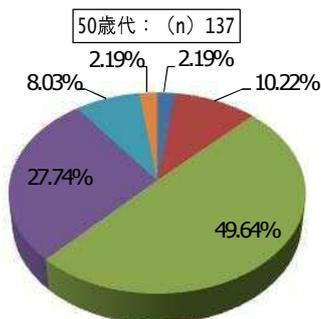
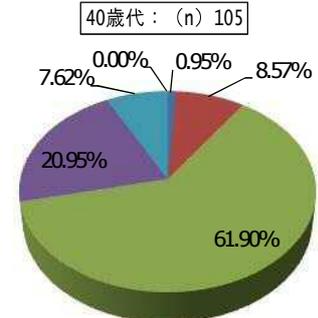
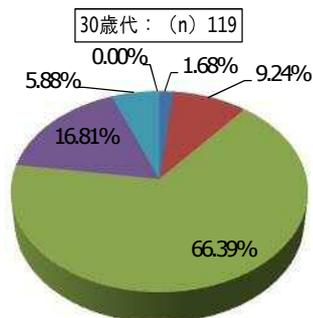
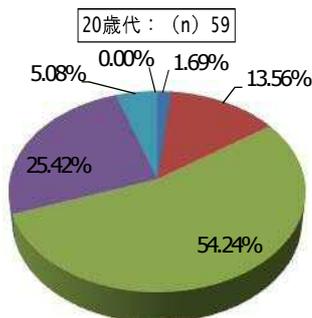


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

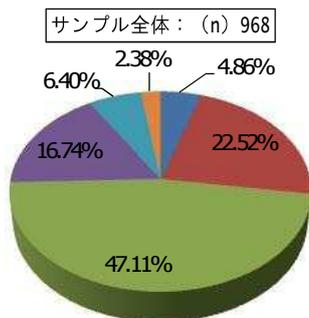
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高い。
- 性別では男性の方が女性より「不満」「やや不満」の割合がやや高い。
- 年代別では各年代で「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」より高く、特に40歳代 - 50歳代の不満感に高い傾向が見られる。

【住環境】

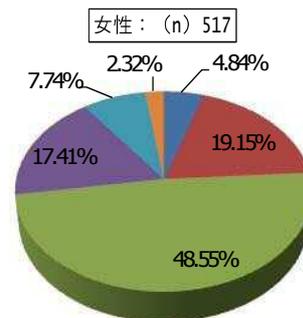
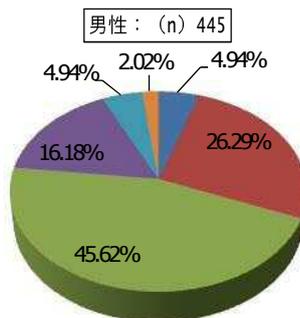
みどりの保全や公共施設（都市施設）の改善、身近な公園の整備、テレビ中継局の整備、良質な水の安定供給など、うるおいのある生活環境の整備がなされている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

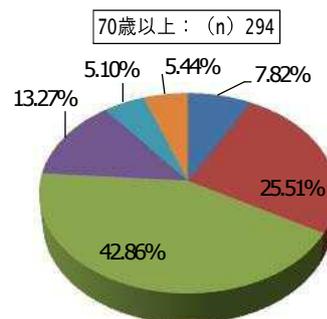
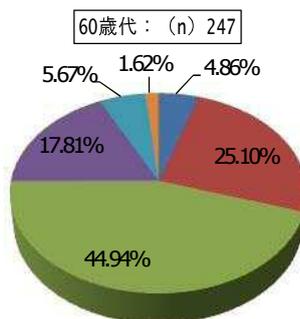
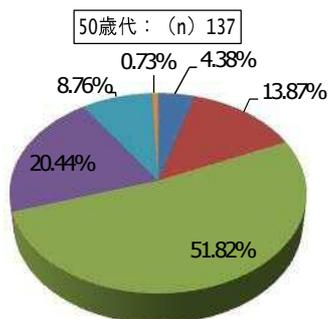
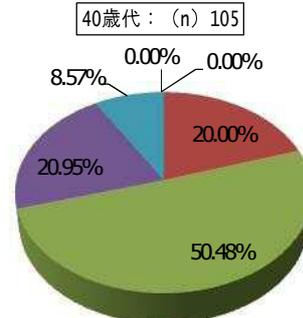
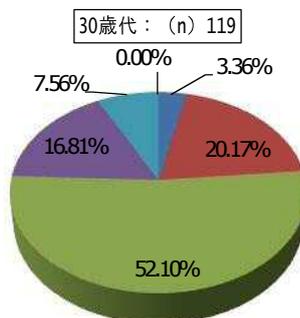
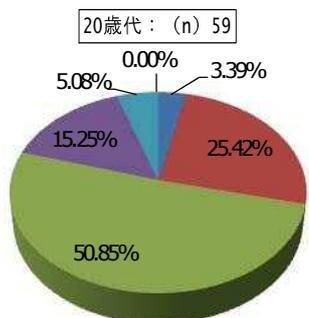


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

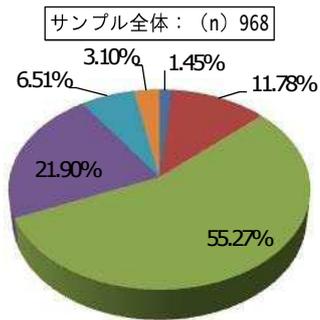
- 総体的には「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合よりやや高い。
- 性別では男性の方が女性より「満足」「やや満足」の割合がやや高い。
- 年代別では 30 歳代 - 50 歳代では、「不満」「やや不満」の割合が「満足」「やや満足」より高い傾向が見られる。

【居住空間】

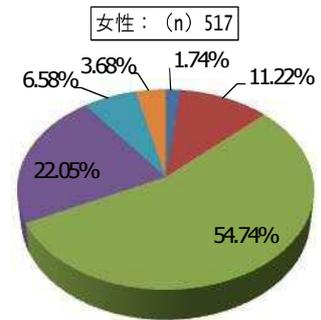
安全・安心・快適な暮らしの基盤となる良質な住宅の確保や省エネ住宅の建設促進、ライフスタイルに合った住み替えができる住環境が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

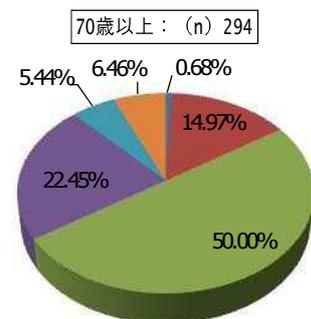
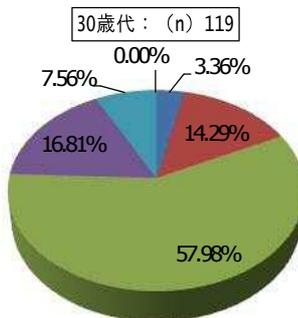
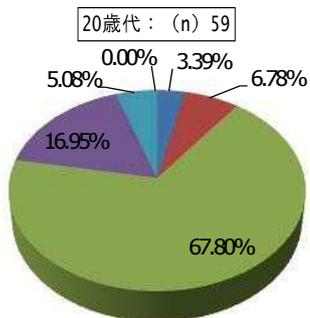


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

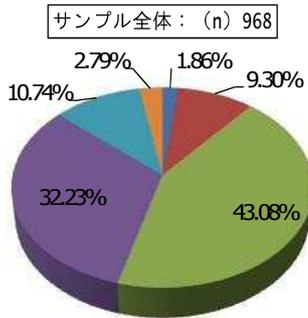
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高い。
- 性別では男女間において大差はなく、年代別では40歳代 - 50歳代の「不満」「やや不満」の割合が「満足」「やや満足」の割合を大幅に上回り、不満感に高い傾向が見られる。

【交通網】

障がい者や高齢者にも配慮した安全で利便性の高い生活道路の整備・維持や交通手段の確保が図られている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

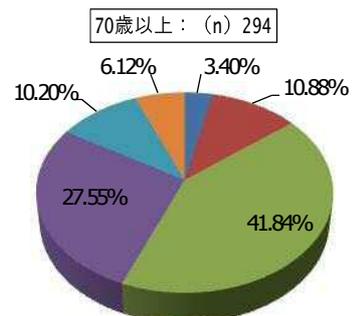
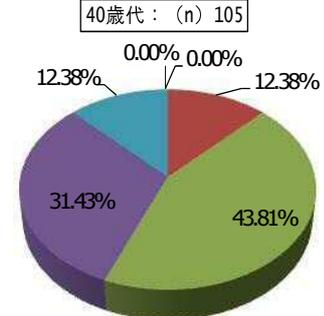
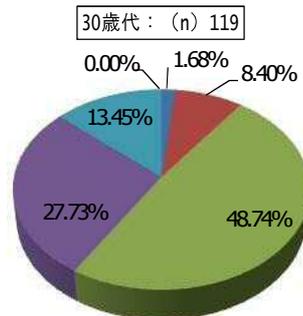


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合を大幅に上回る。
- 男女それぞれ、またどの世代においても「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」を大幅に上回っており、性別、年代を問わず不満感に高い傾向が見られる。

【第4章の総合的な満足度】

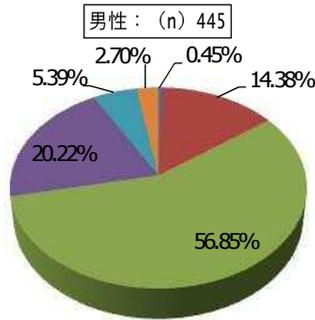
第4章『調和の中でふるさとを演出するまち』（問14～問18）について、あなたの総合的な「満足度」をお聞かせください。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

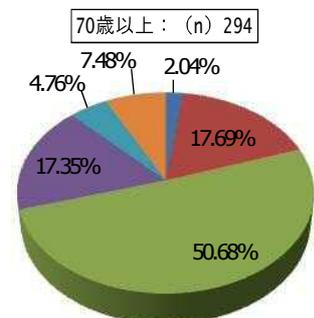
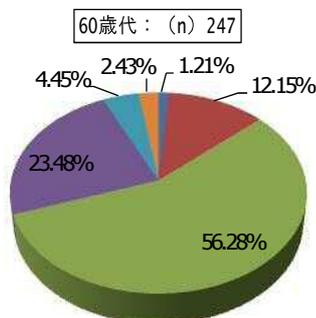
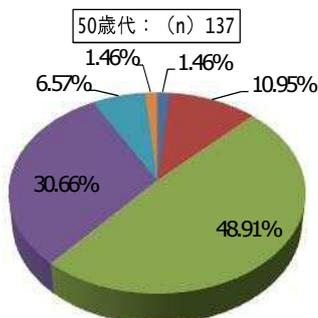
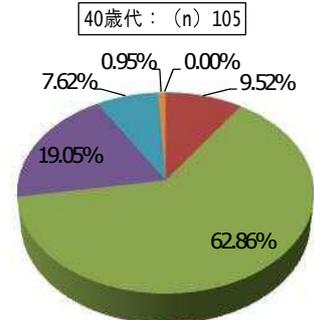
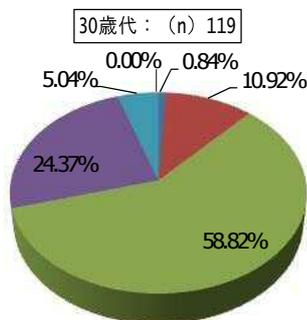
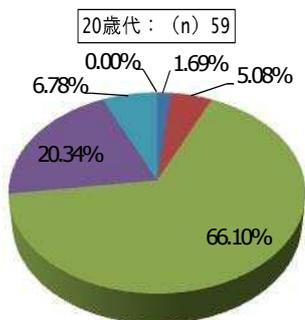


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

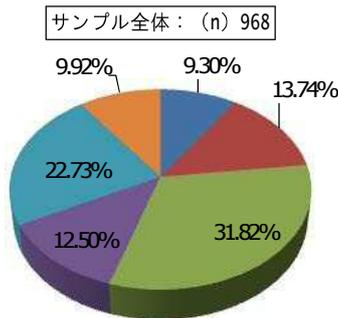
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合よりも高い。
- 性別では女性の方が男性より「不満」「やや不満」の割合がやや高い。
- 年代別ではどの年代においても「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高く、特に60歳代以下の不満感に高い傾向が見られる。

【第4章に掲げる施策の重要度】

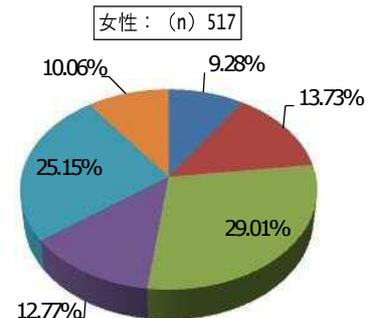
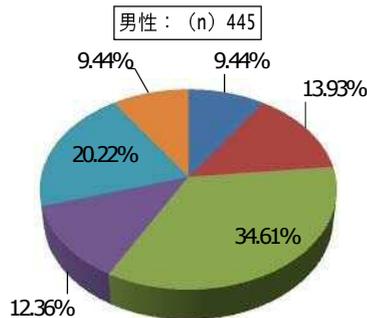
第4章『調和の中でふるさとを演出するまち』（都市空間、地域景観、住環境、居住空間、交通網）の中で、あなたが特に「重要と考える項目」をお聞かせください。

■ 都市空間 ■ 地域景観 ■ 住環境 ■ 居住空間 ■ 交通網 ■ 未回答

〔全体〕

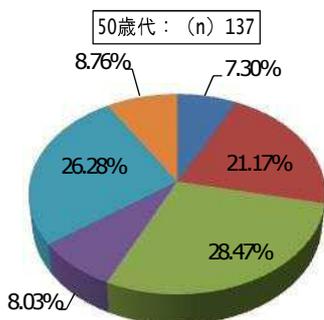
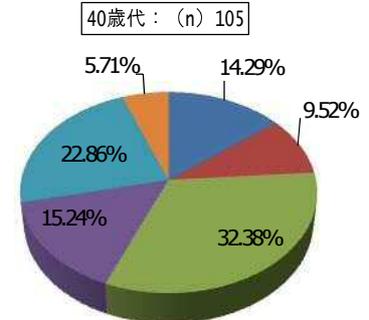
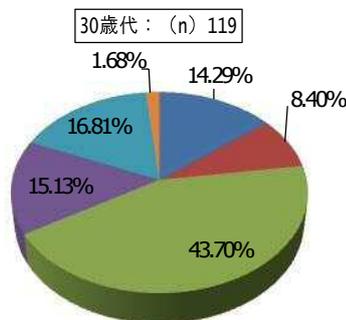
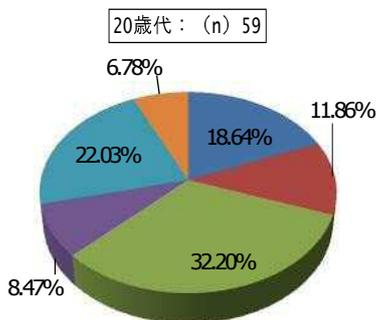


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「住環境」を重要とする割合が最も高く、次いで「交通網」「地域景観」の順で重要とする割合が高い。
- 性別では男女共に「住環境」「交通網」「地域景観」の順で重要とする割合が高い。
- 年代別では全ての年代において「住環境」「交通網」の順で重要とする割合が高く、次いで、20歳代は「都市空間」、30歳代 - 40歳代と70歳代は「居住空間」、50歳代 - 60歳代は「地域景観」を重要とする割合が高い。

調査結果の分析

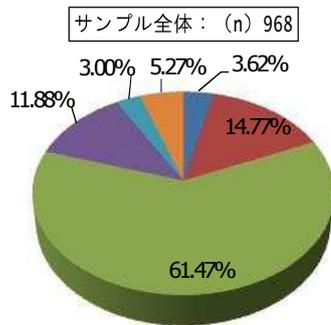
◇第5章『豊かな個性と人間性を育むまち』

【生涯学習】

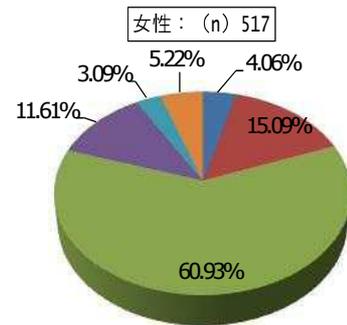
生涯を通じて自主的・主体的に学習活動を進められる支援体制や環境が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

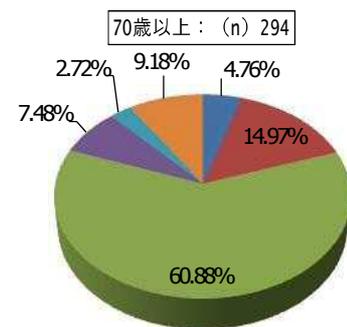
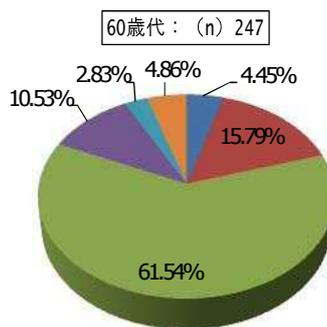
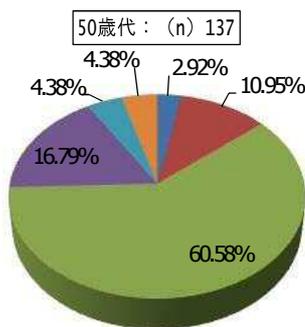
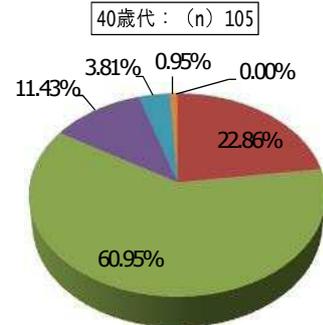


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

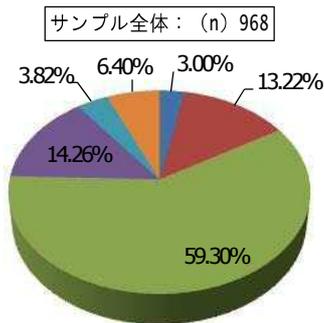
- 総体的には「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合よりやや高い。
- 性別では男女間において大差はない。
- 年代別では40歳代と60歳代以上で「満足」「やや満足」の割合がやや高く、20歳代と50歳代では「不満」「やや不満」の割合が高い。

【子どもの教育】

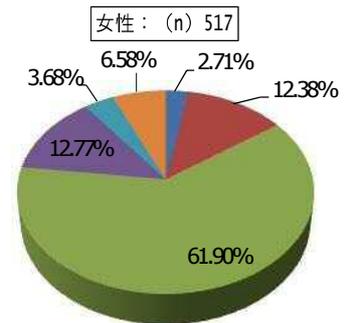
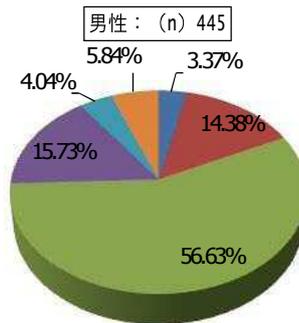
「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」などの生きる力の育成と共に、学力向上に向けた教育環境が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

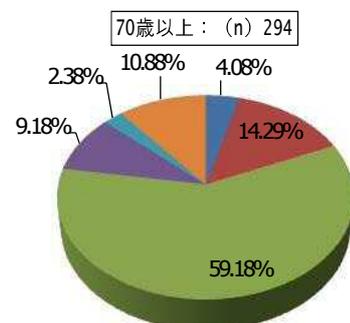
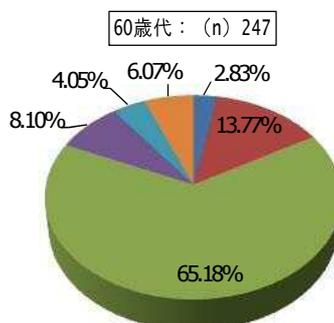
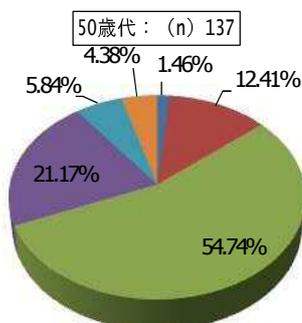
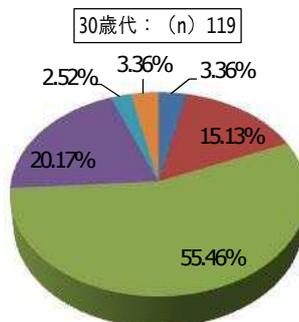


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

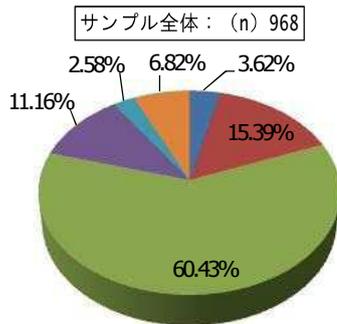
- 総体的には「満足」「やや満足」と「不満」「やや不満」の割合に大差はない。
- 性別では男性の方が女性よりも「不満」「やや不満」の割合が高い。
- 年代別では20歳代 - 50歳代で「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」より高い傾向にある一方、60歳代以上では「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」よりやや高い。

【地域に根ざした学校づくり】

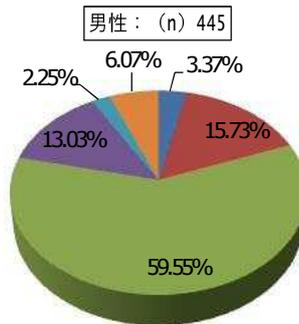
地域に根ざした特色ある教育活動が進められ、開かれた学校づくりが推進されている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

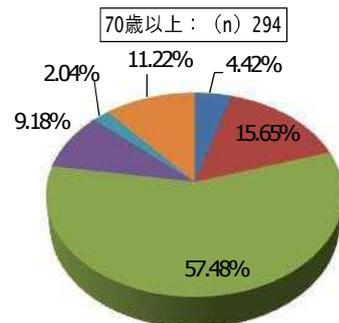
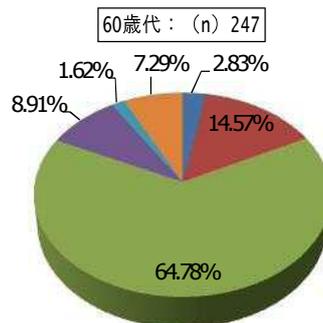
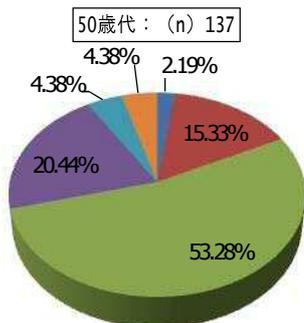
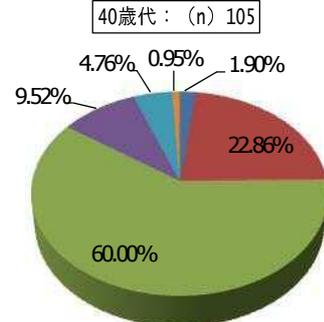
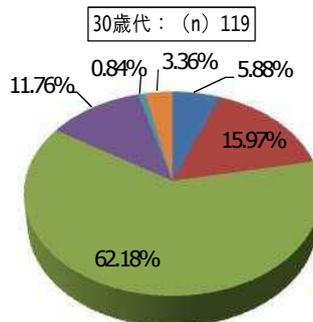
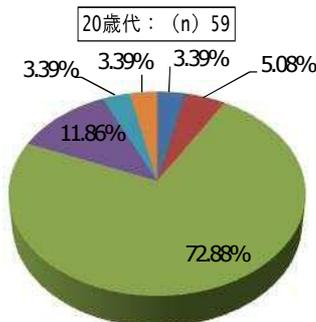


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

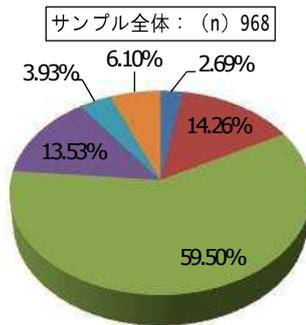
- 総体的には「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合よりやや高い。
- 性別では男女間において大差はなく、年代別では20歳代と50歳代以外の各年代で「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合より高い傾向が見られる。

【青少年健全育成】

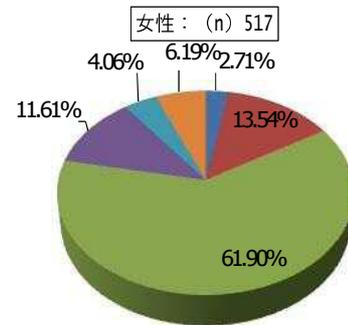
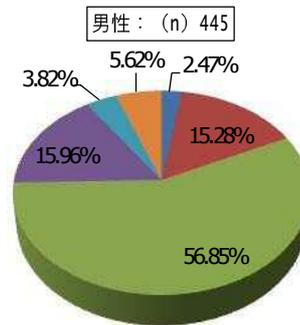
家庭、学校、地域が一体となって青少年の非行を未然に防止し、社会性を育む機会を提供している。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

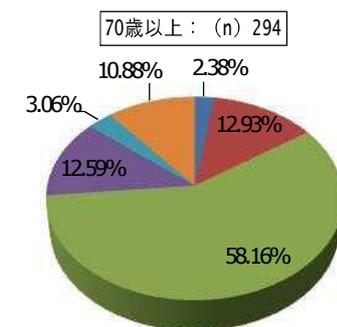
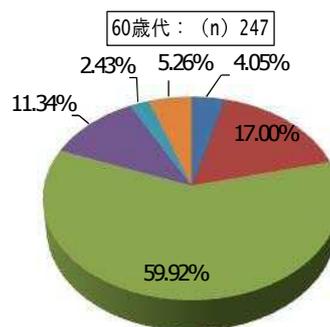
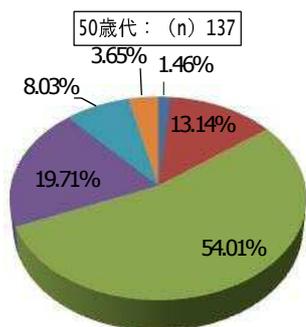
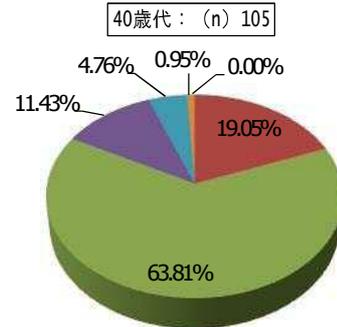
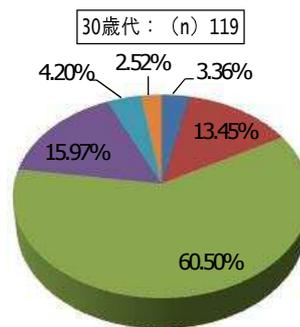
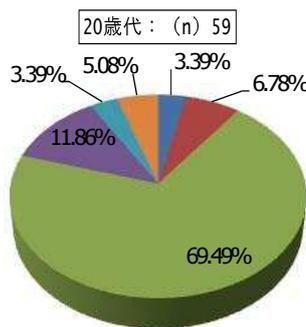


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

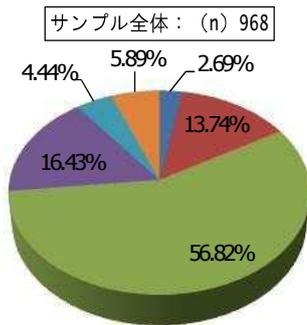
- 総体的には「満足」「やや満足」と「不満」「やや不満」の割合に大差はない。
- 性別では男性の方が女性より「不満」「やや不満」の割合がやや高い。
- 年代別では20歳代 - 30歳代と50歳代で「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」より高い傾向にある一方、40歳代と60歳代では「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」よりやや高い。

【文化・芸術活動】

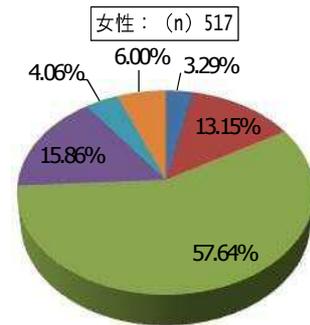
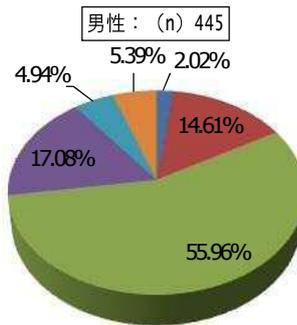
文化情報の収集と周知に努めると共に、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供し、創造性豊かな文化活動を支援する環境が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

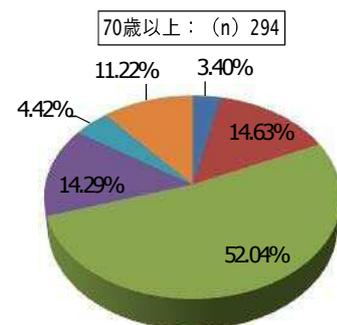
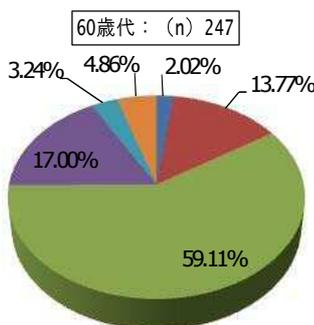
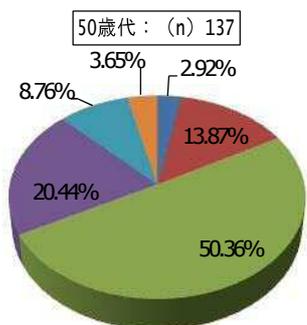
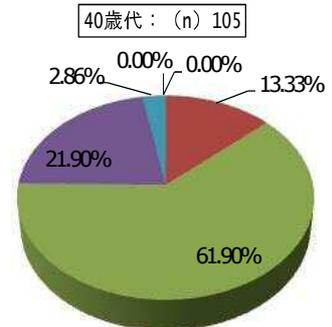
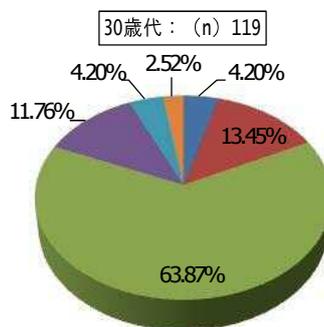
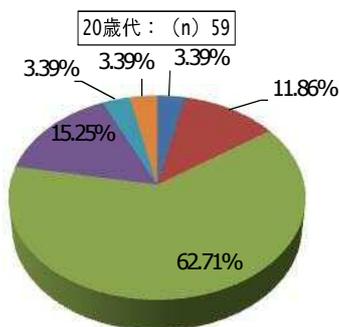


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

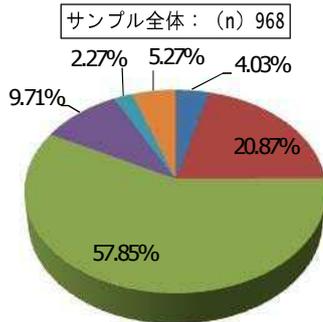
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合よりやや高い。
- 性別では男女間において大差はない。
- 年代別では 30 歳代以外の年代で「不満」「やや不満」の割合が「満足」「やや満足」の割合より高い傾向にあり、特に 40 歳代 - 50 歳代で不満感が高い。

【文化の保存・継承】

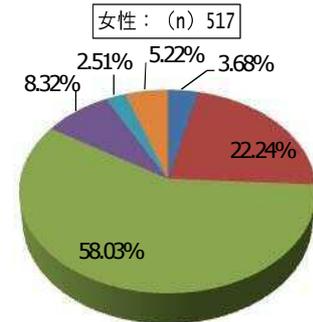
先人の残した文化財や郷土芸能などの文化遺産を保存・継承し、将来の文化振興の礎として積極的に保護・活用している。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

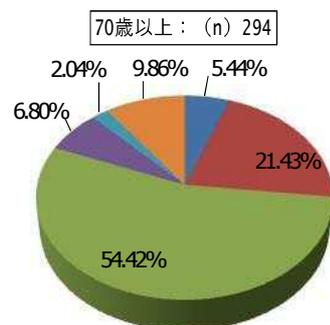
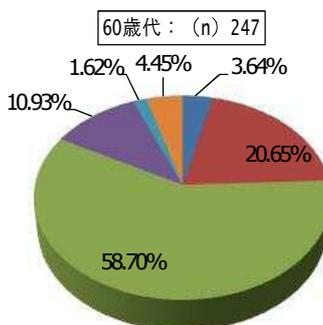
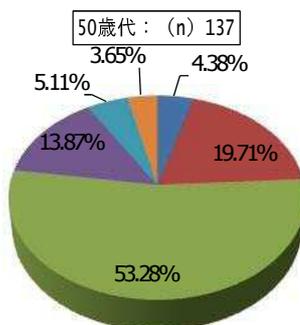
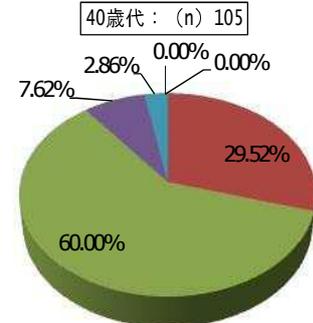
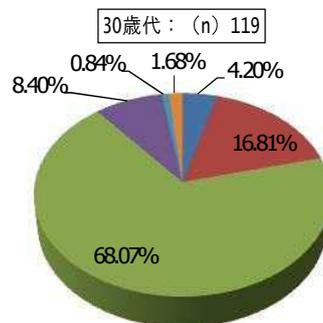
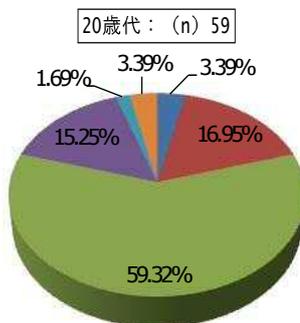


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

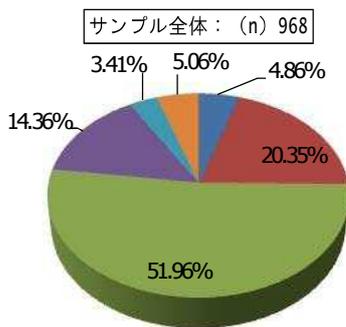
- 総体的には「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合より高い。
- 性別では男女間に大差はない。
- 年代別では全ての年代で「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合よりやや高い傾向が見られ、特に40歳代の「満足」「やや満足」の割合が高い。

【スポーツ活動】

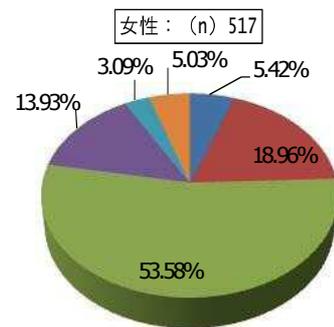
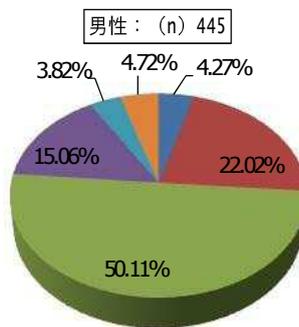
気軽にスポーツを楽しみながら体力づくりを増進し、健康で活力ある生活を目指すための環境が整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

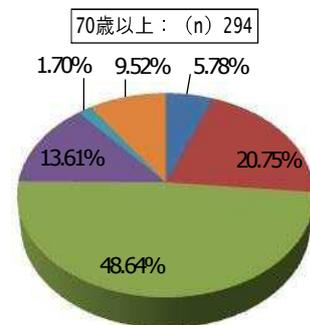
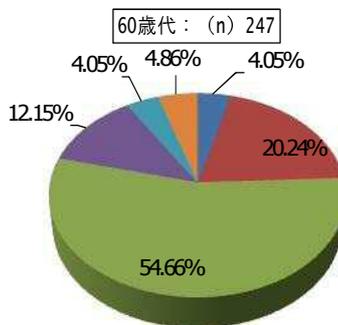
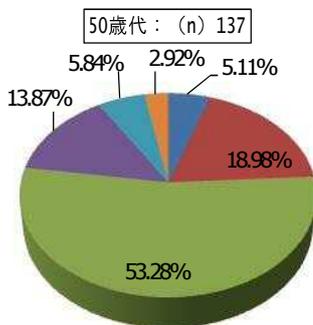
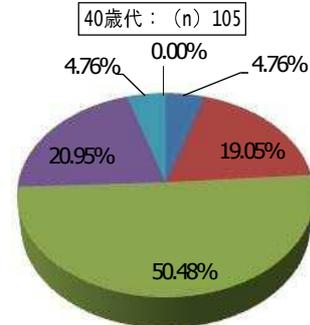
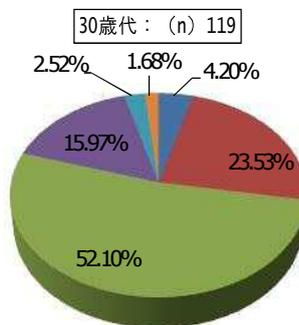


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合よりやや高い。
- 性別では男女間に大差はなく、年代別では40歳代以外の年代で「満足」「やや満足」の方が「不満」「やや不満」の割合よりやや高い。

【第5章の総合的な満足度】

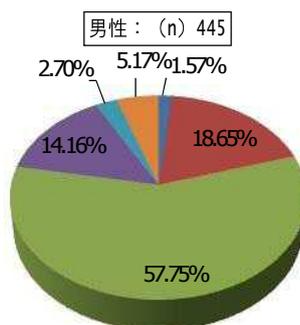
第5章『豊かな個性と人間性を育むまち』（生涯学習、子供の教育、地域に根ざした学校づくり、青少年健全育成、文化・芸術活動、文化の保存・継承、スポーツ活動）について、あなたの総合的な「満足度」をお聞かせください。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

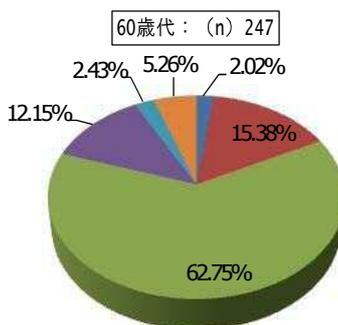
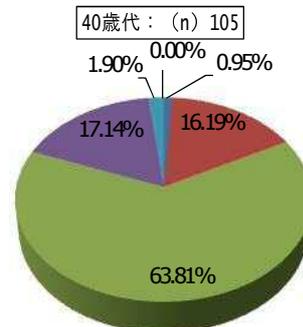
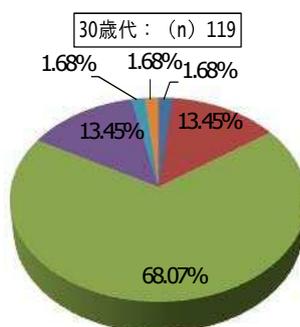
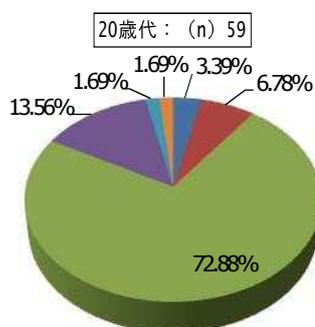


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



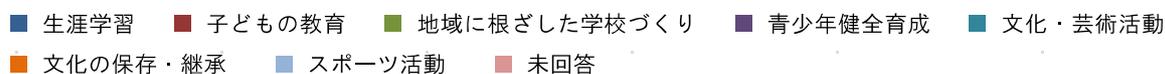
※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

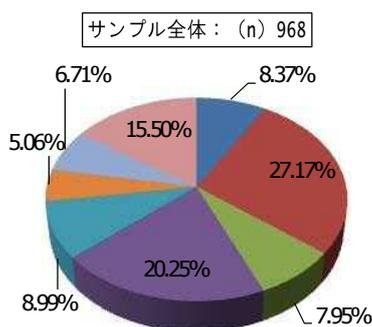
- 総体的には「満足」「やや満足」と「不満」「やや不満」の割合に大差はない。
- 性別では男性の方が女性より「満足」「やや満足」の割合がやや高い。
- 年代別では50歳代以下の各年代で「不満」「やや不満」の割合がやや高い一方、60歳代以上の年代では「満足」「やや満足」の割合がやや高い。

【第5章に掲げる施策の重要度】

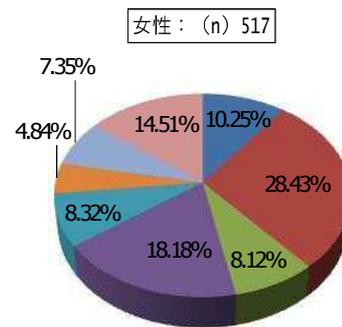
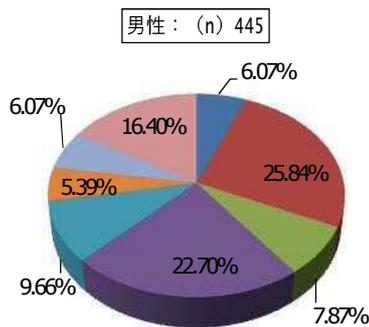
第5章『豊かな個性と人間性を育むまち』（生涯学習、子どもの教育、地域に根ざした学校づくり、青少年健全育成、文化・芸術活動、文化の保存・継承、スポーツ活動）について、あなたが特に「重要と考える項目」をお聞かせください。



〔全体〕

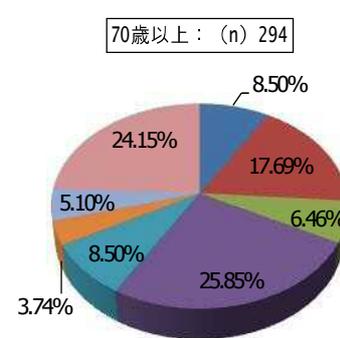
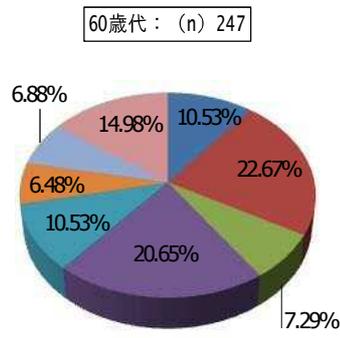
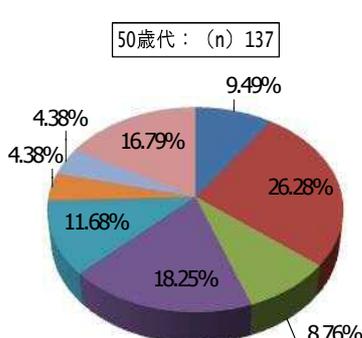
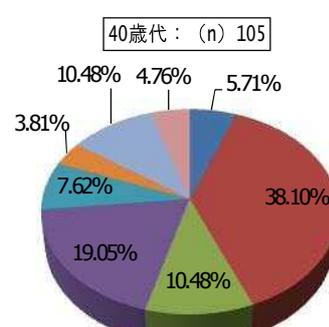
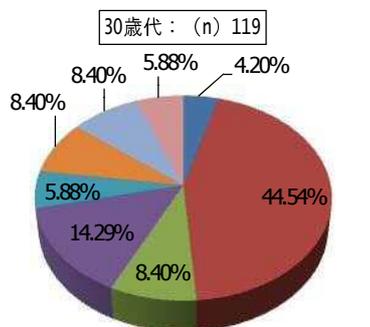
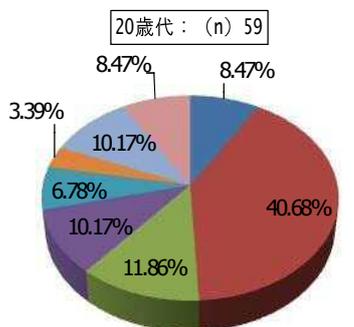


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



【考察】

- 総体的には「子どもの教育」が最も高く、次いで「青少年健全育成」「文化・芸術活動」の順で重要とする割合が高い。
- 性別では男女共に「子どもの教育」「青少年健全育成」の順で、次いで男性は「文化・芸術活動」、女性は「生涯学習」を重要とする割合が高い。
- 年代別では70歳代が「青少年健全育成」を、60歳代以下が「子どもの教育」を最も重要とする割合が高い。

調査結果の分析

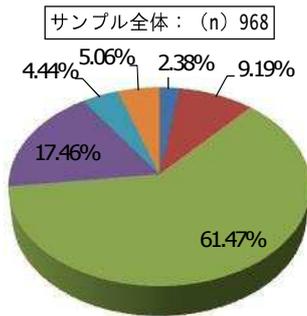
◇第6章『担いあうまちづくり』

【市民自治・協働】

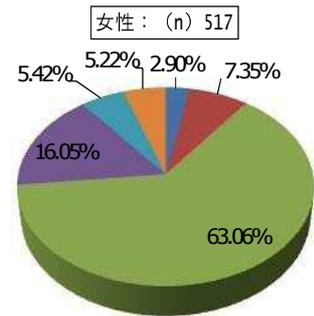
市民・行政・議会の役割が分担され、協働のまちづくりの仕組みが構築されている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

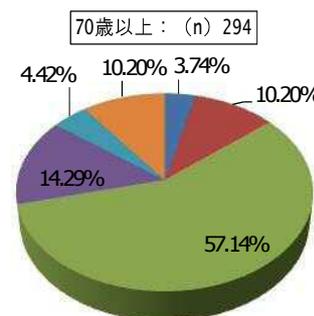
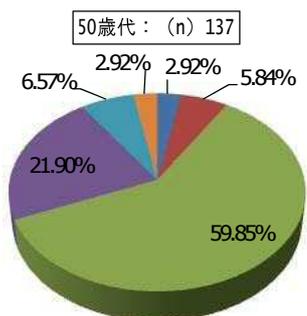
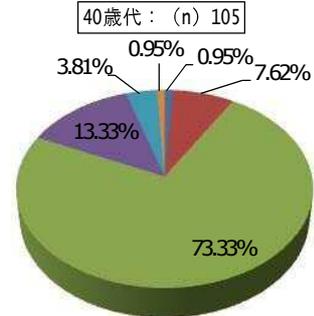
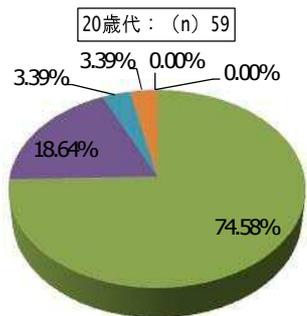


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

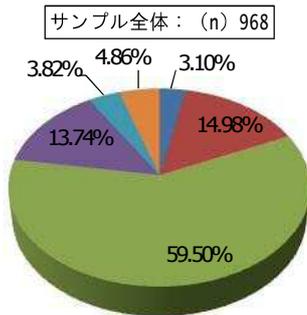
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高い。
- 性別では男女間において大差はない。
- 年代別では20歳代で「不満」「やや不満」の割合が高く、高齢世代より若い世代や現役世代の方が不満感に高い傾向が見られる。

【まちづくり活動】

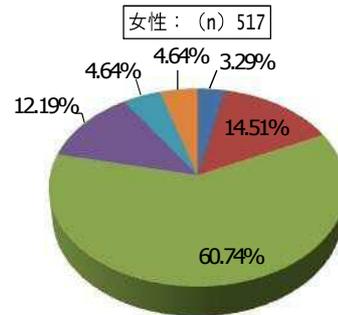
まちづくり活動に取り組む個人や団体の育成・支援が積極的に行われ、団体同士の連携により、まちづくり活動が活発に展開されている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

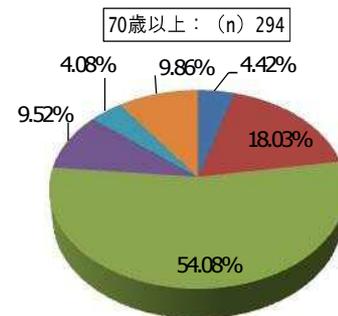
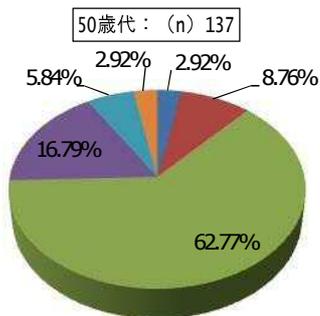
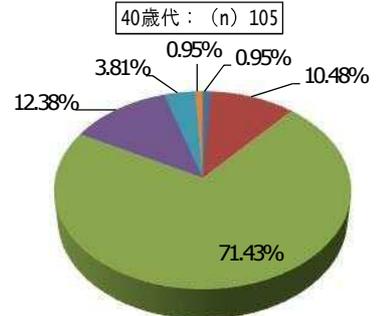
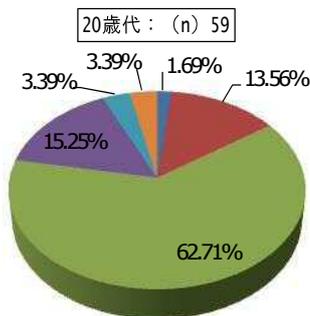


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

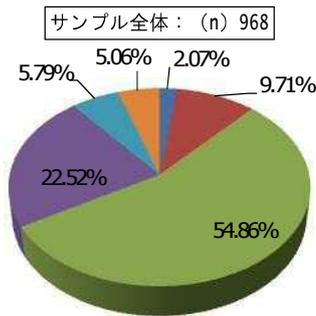
- 総体的には「満足」「やや満足」と「不満」「やや不満」の割合に大差はない。
- 性別では男女間において大差はなく、年代別では、50歳代以下の各年代で「不満」「やや不満」の割合がやや高い一方、60歳以上の年代で「満足」「やや満足」の割合がやや高い傾向が見られる。

【情報公開・共有】

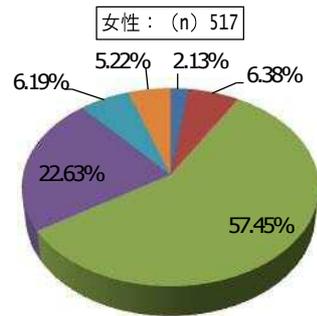
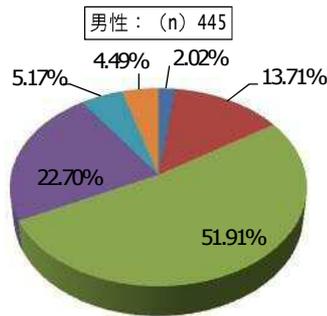
市民と行政が情報を共有し、市民の意見が的確に行政に反映する仕組みが整っている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

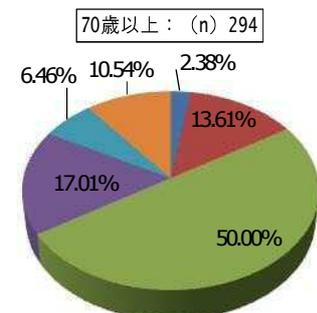
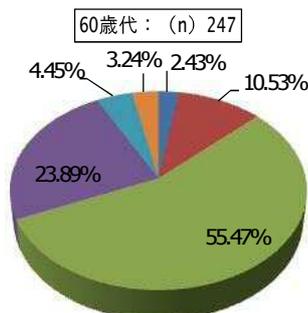
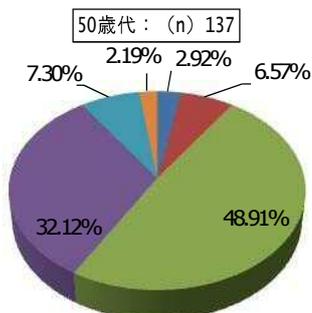


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数:6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数:7

【考察】

- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高い。
- 性別では男女間で「不満」「やや不満」の割合に大差はない。
- 年代別では全ての年代で「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より高く、50歳代以下で不満感が高い傾向が見られる。

【広域交流】

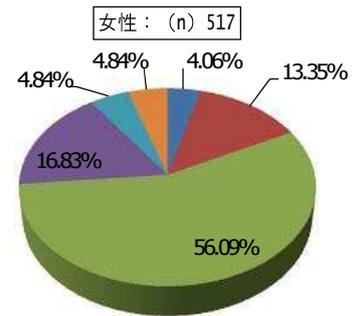
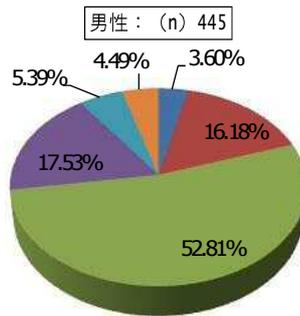
周辺市町村や姉妹都市、札幌圏・首都圏との連携により、効率的な行政運営や観光客誘致が促進されている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

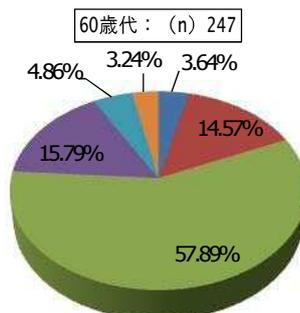
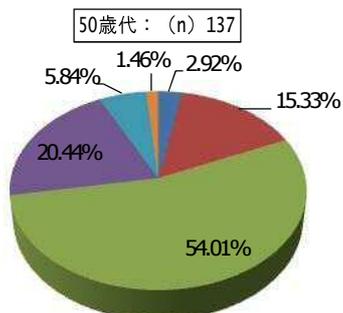
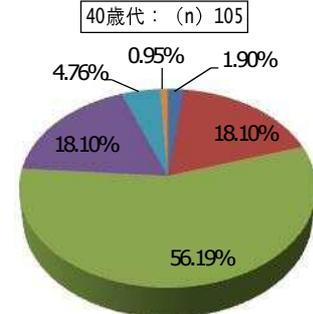
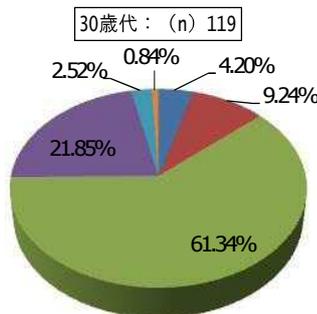
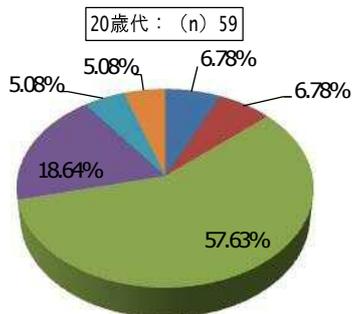


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

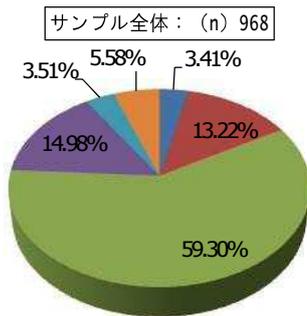
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合よりやや高い。
- 性別では男女間において大差はなく、年代別では20歳代 - 50歳代で「不満」「やや不満」の割合が「満足」「やや満足」の割合よりも高い傾向が見られる。

【国際交流】

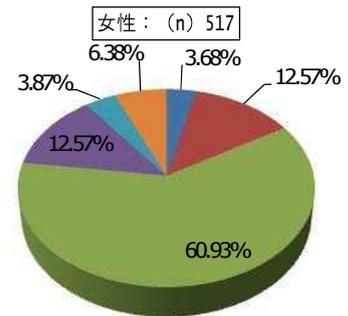
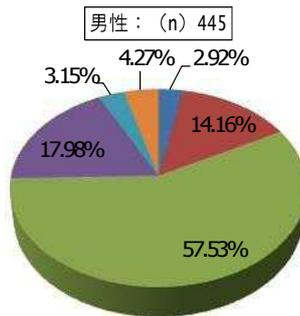
友好都市との活発な交流活動や国際観光都市として外国人が快適に滞在しやすいまちづくりが行われている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔 全 体 〕

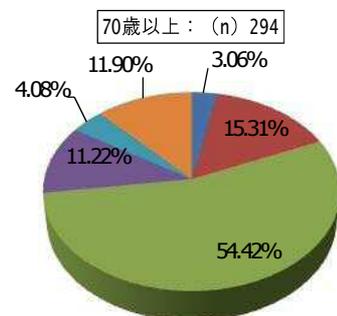
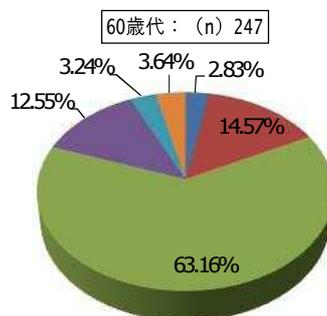
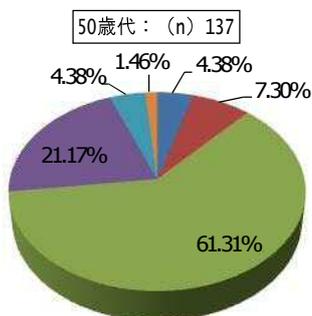
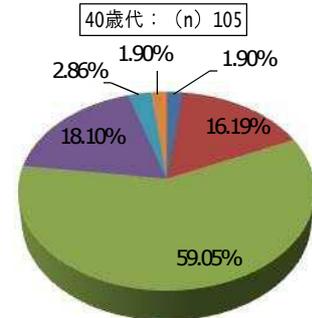
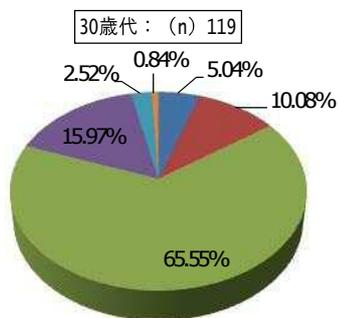
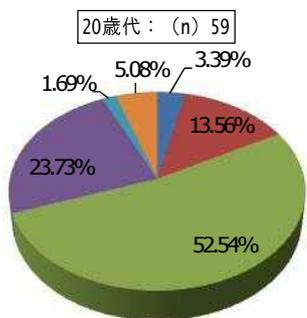


〔 性 別 〕



※性別についての設問未回答数：6

〔 年 代 別 〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「不満」「やや不満」と「満足」「やや満足」の割合に大差はない。
- 性別では男性の方が女性より「不満」「やや不満」の割合がやや高い。
- 年代別では20歳代と50歳代で「不満」「やや不満」の割合が高く、他の年代より不満感が高い傾向が見られる。

【移住・定住】

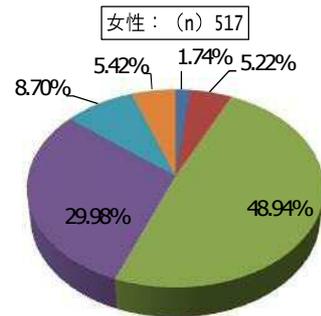
将来の人口減に対応し、まちの活力を維持するために移住・定住の促進策が実施されている。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

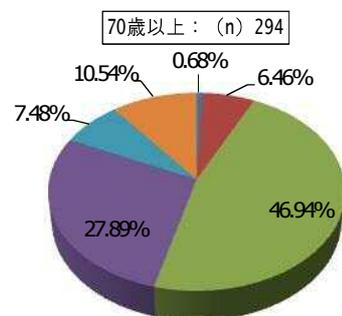
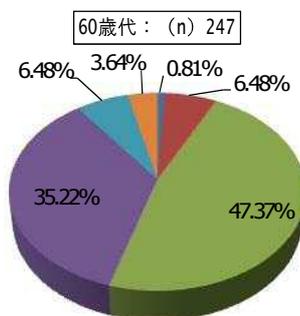
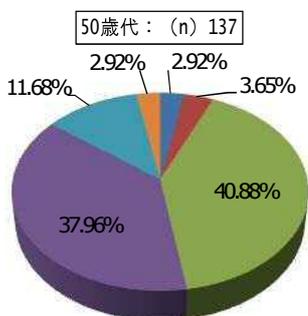
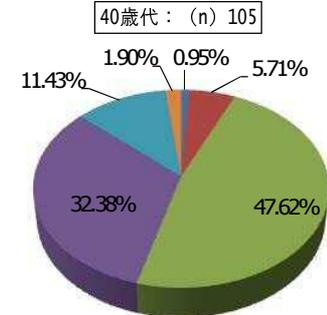
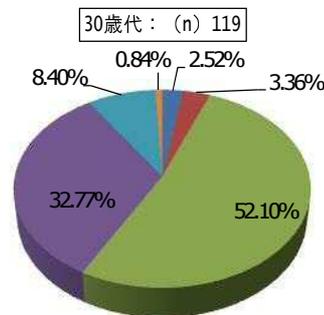
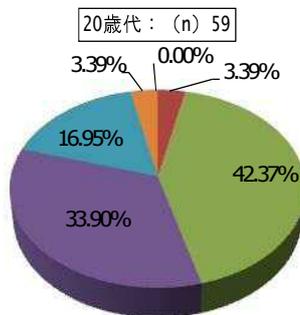


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

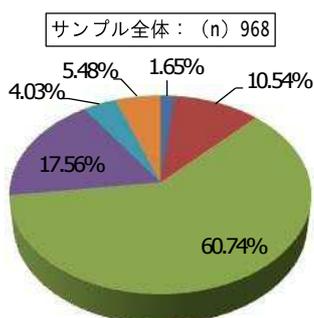
- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合より大幅に上回っている。
- 性別では男性の方が女性より「不満」「やや不満」の割合がやや高い。
- 年代別では、すべての年代で「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合を大幅に上回っており、不満感に高い傾向が見られる。

【第6章の総合的な満足度】

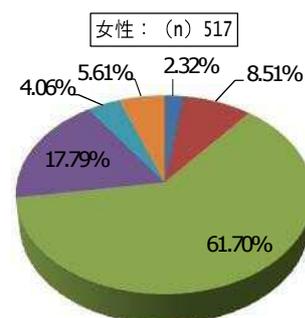
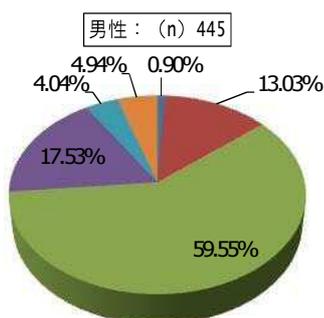
第6章『担いあうまちづくり』（市民自治・協働、まちづくり活動、情報公開・共有、広域交流、国際交流、移住・定住）について、あなたの総合的な「満足度」をお聞かせください。

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

〔全体〕

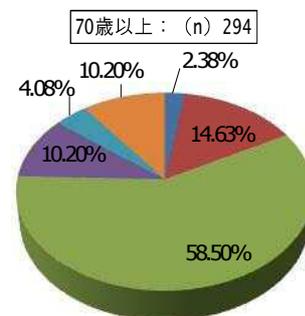
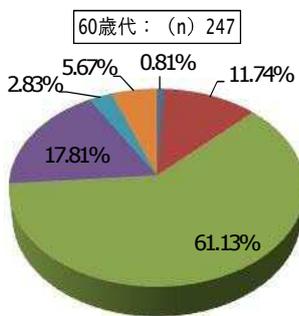
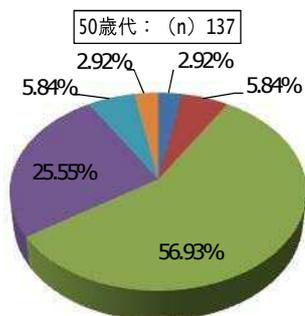
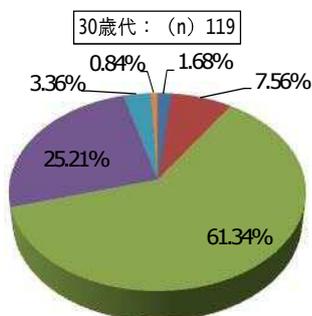
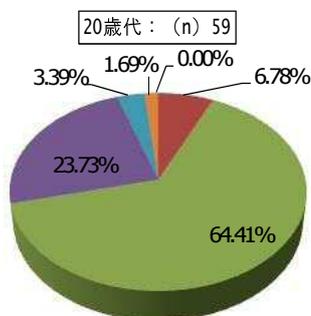


〔性別〕



※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「不満」「やや不満」の方が「満足」「やや満足」の割合よりやや高い。
- 性別では男女間において大差はない。
- 年代別では20歳代 - 30歳代と50歳代の「不満」「やや不満」の割合が高く、高齢世代に比して不満感が高い傾向が見られる。

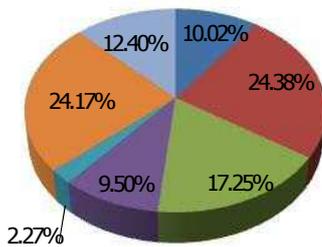
【第6章に掲げる施策の重要度】

第6章『担いあうまちづくり』（市民自治・協働、まちづくり活動、情報公開・共有、広域交流、国際交流、移住・定住）について、あなたが特に「重要と考える項目」をお聞かせください。 市民・行政・議会の役割が分担され、協働のまちづくりの仕組み

■市民自治・協働 ■まちづくり活動 ■情報公開・共有 ■広域交流 ■国際交流 ■移住・定住 ■未回答

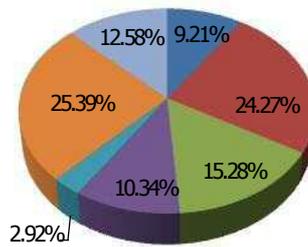
〔全体〕

サンプル全体：(n) 968

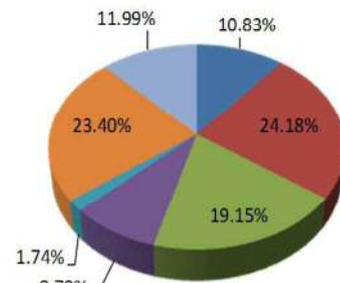


〔性別〕

男性：(n) 445



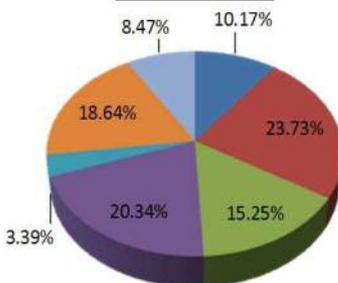
女性：(n) 517



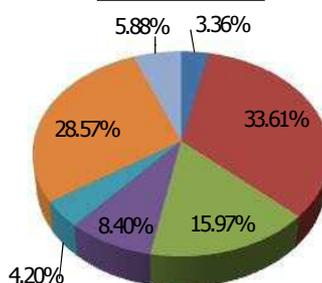
※性別についての設問未回答数：6

〔年代別〕

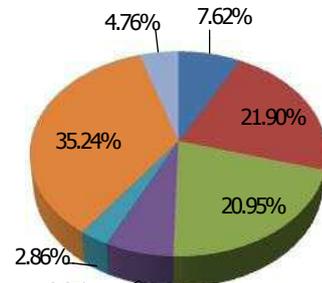
20歳代：(n) 59



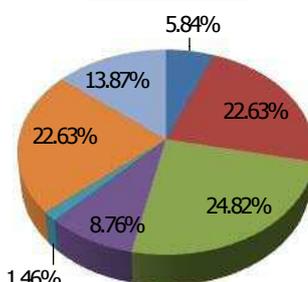
30歳代：(n) 119



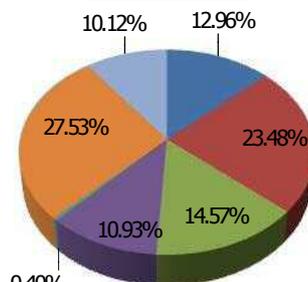
40歳代：(n) 105



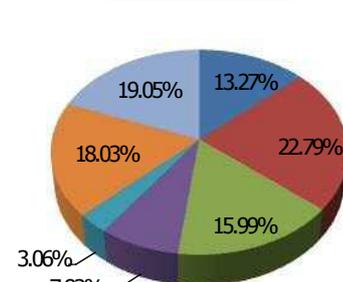
50歳代：(n) 137



60歳代：(n) 247



70歳以上：(n) 294



※年代別についての設問未回答数：7

【考察】

- 総体的には「まちづくり活動」が最も高く、次いで「移住・定住」「情報公開・共有」の順で重要とする割合が高い。
- 性別では男性が「移住・定住」、女性が「まちづくり活動」を最も重視している。
- 年代別では20歳代 - 30歳代と70歳代が「まちづくり活動」、40歳代と60歳代が「移住・定住」、50歳代が「情報公開・共有」を重要とする割合が高い。

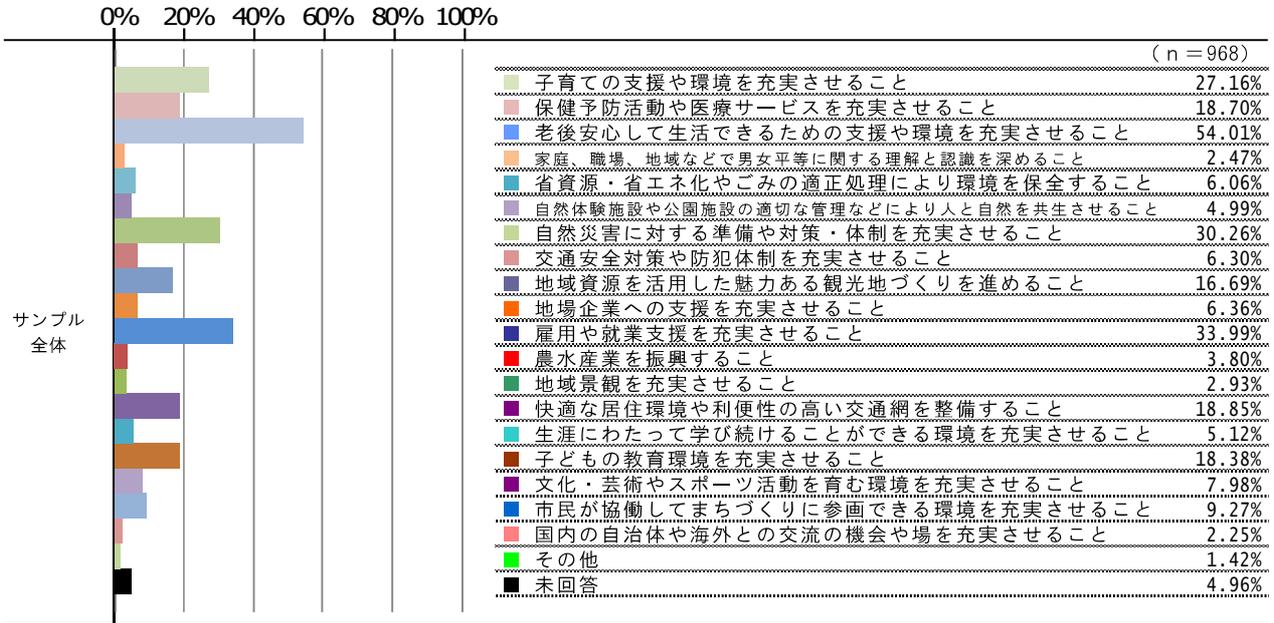
調査結果の分析

◇魅力あるまちづくりのために重要なこと

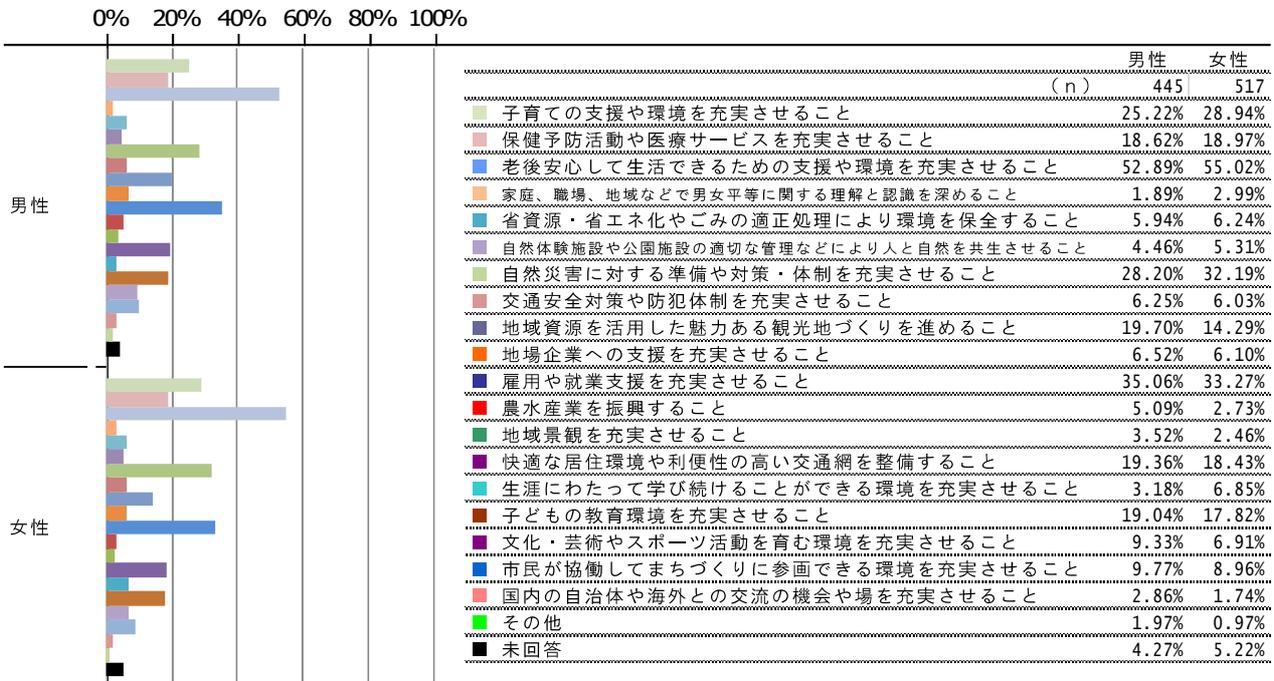
【魅力あるまちづくりのために重要なこと】

あなたが魅力あるまちづくりのために重要と考えることをお聞かせください。

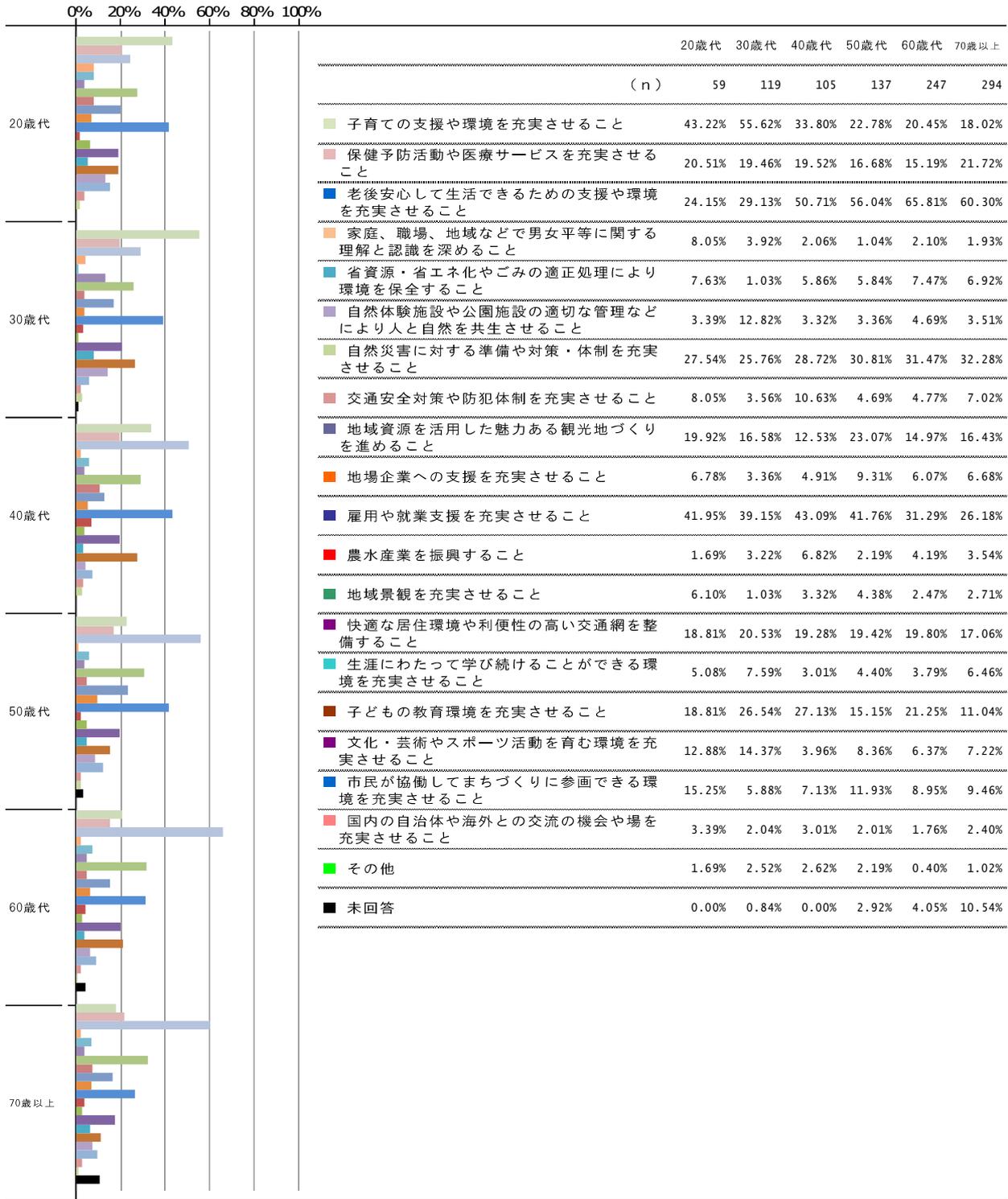
〔 全 体 〕



〔 性 別 〕



〔年代別〕



【考察】

- 総体的には「老後安心して生活できるための支援や環境を充実させること」が最も高く、次いで「雇用や就業支援を充実させること」「自然災害に対する準備や対策・体制を充実させること」の順で重要とする割合が高い。また、性別における上位3項目に関しても男女共に全体と同様の項目及び順で重要とする割合が高い。
- 年代別では20歳代 - 30歳代で「子育ての支援や環境を充実させること」、40歳代 - 70歳以上では「老後安心して生活できるための支援や環境を充実させること」を重要とする割合が最も高い。また、全世代において「自然災害に対する準備や対策・体制を充実させること」「雇用や就業支援を充実させること」を重要とする割合が高く、その意識の高さがうかがえる。

平成25年度登別市まちづくり意識調査結果報告書

平成25年10月

総務部企画調整グループ